

上下水道経営戦略

～小規模自治体へのアプローチ～

小規模自治体

上下水道組織が
一体の場合も多く、
「経営の基本方針」の
統一が必要

上下水道連携

水道事業の国土交通省
への移管により、
より一体的な戦略が
求められる

どうする？

小規模自治体

財政収支・更新需要
見通しの検討手法
確立が必要
(アセット)

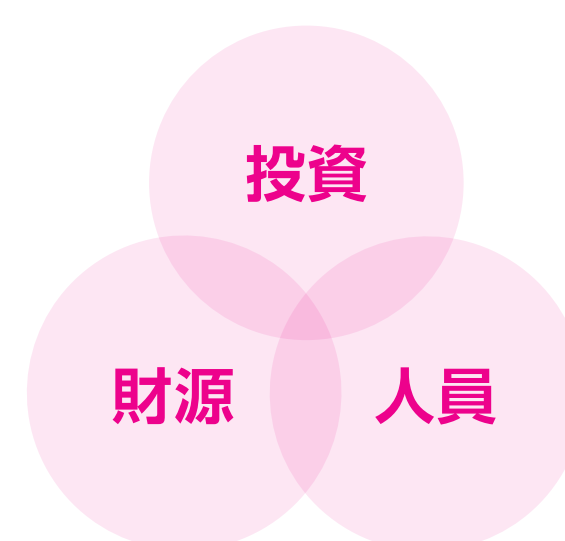
上下水道連携

事後検証
(モニタリング)
手法の検討が重要

上下水道事業に対する要求が多様化する中、健全経営を基盤として、上下水道サービスの提供を継続させるためには、経営方針の共有、財政収支・更新需要見通し・目標達成に向けた経営状況を適宜把握という事業経営に関するマネジメントサイクルの構築・運用が必要となります。

上下水道連携した事業経営マネジメントが必要!!

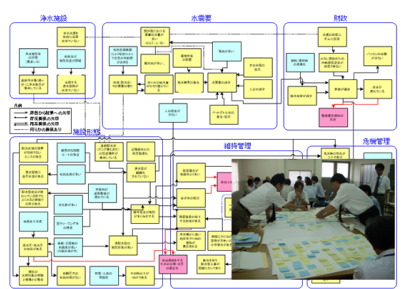
マネジメントサイクルでは、業務指標等を活用した定量的な評価手法の確立が重要となります。



経営戦略策定手順と留意事項

基本情報の整理・共有

現状と課題認識と対策を十分に把握するとともに、**上下水道統一した「経営の基本方針」策定**が重要ワークショップ、ワールドカフェ方式等の様々な手法を用いて認識の共有化を図ります。



投資財政計画の策定

財政収支・更新需要見通しの検討手法確立が重要です。

※水道は2023年7月の厚生労働省通達において、『将来的にアセットマネジメントの水準がいわゆる4D相当であることを交付金要望の要件とする予定』である旨が通知されました。

投資以外の経費・その他取組みの整理

ウォーターPPP導入可能性調査等、様々な取組みの可能性を整理する必要があります。

投資以外の経費・その他取組みの整理	投資	投資	投資
投資以外の経費・その他取組みの整理	投資	投資	投資
投資以外の経費・その他取組みの整理	投資	投資	投資
投資以外の経費・その他取組みの整理	投資	投資	投資
投資以外の経費・その他取組みの整理	投資	投資	投資

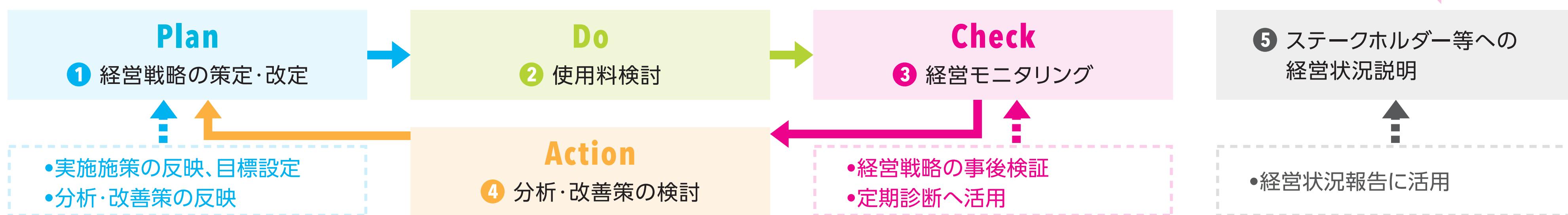
アセットマネジメントの検討タイプ

事後検証・更新等に関する検討

経営戦略を作るだけでなく、事業経営に関するマネジメントサイクルを確立するために、**事後検証(モニタリング手法)**の検討が重要です。

事業経営に関するマネジメントサイクル

健全経営を基盤として、上下水道サービスの提供を継続させるためには、事業経営に関するマネジメントサイクルの構築、運用が必要となります。このためにはモニタリング手法の確立が必要です。



経営診断表を活用した定量的な評価手法

- ヒト・モノ・カネの3つの視点から、経営状況を定量的に評価できます。
- 地方公営企業年鑑等の公表データをベースに、全国団体、類似団体、同じ都道府県内の団体との比較が可能です。
- ポジショニング分析、ベンチマーク分析等により、経営状況の可視化が可能です。
- 各事業体の上下水道事業の運用形態に応じた、診断項目(業務指標)の設定が可能です。

Point 1

ポジショニング分析では、対全国、対県内のような2軸による分析を行うことで、自らの立ち位置を確認することができます。

Point 2

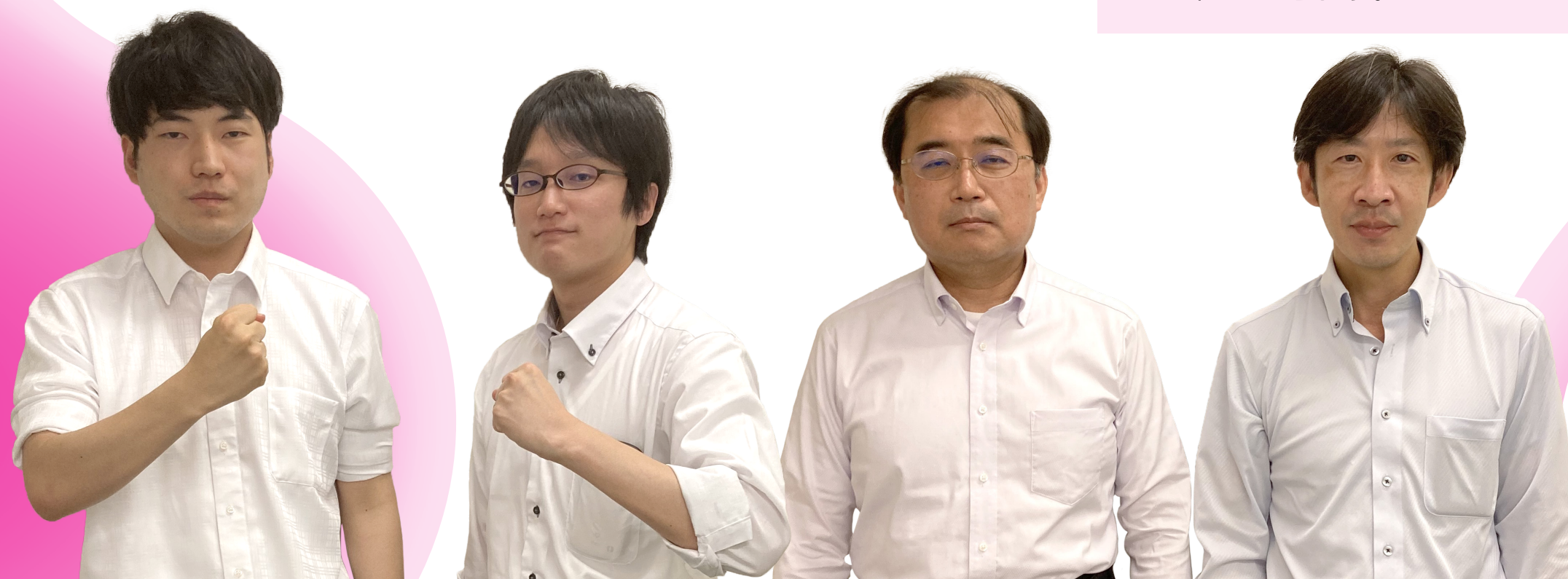
設定したヒト・モノ・カネの3分野の指標をもとに、偏差値により、強み、弱みを確認することができます。

Point 3

診断項目は、初期設定値での分析のほか、事業体の特性や要望により、自由にカスタマイズできます。

Point 4

経営戦略等を担う当社担当者が、診断内容をもとに、事業体がどのような経営状況であるかの分析を行います。



上下水道経営マネジメントに
取り組みましょう。